

令和3年～令和7年の4～6月(春山)における山岳遭難事故発生場所

<死亡・重傷事故につながる下山中の滑落事故が多発しています!!>

○ハケ岳では、赤岳、阿弥陀岳での滑落事故が発生し、重傷事故につながっています。

また、滑落事故の多くは下山中に発生しています。

○山岳地帯は冬山とほとんど変わりません。低気圧と高気圧が交互に近づくため、短期間・短時間で天候が変化します。

○雪上でスリップによる転倒、滑落、気温上昇による雪崩、急激な天候変化(気温低下)による道迷い、

低体温症、凍傷に注意しましょう。

茅野警察署・諏訪地区山岳遭難防止対策協会

北ハケ岳で発病や転倒事故あり



蓼科山(4件)
滑落、病気、疲労・凍傷、その他

縞枯山(1件)
その他(雪面を踏み抜き負傷)



南八ヶ岳での下山中の滑落事故多し

天狗岳付近（4件）
 滑落、道迷い、転倒
 ※重傷2件

硫黄岳（3件）
 病気、転倒、疲労・凍傷
 ※死亡者あり

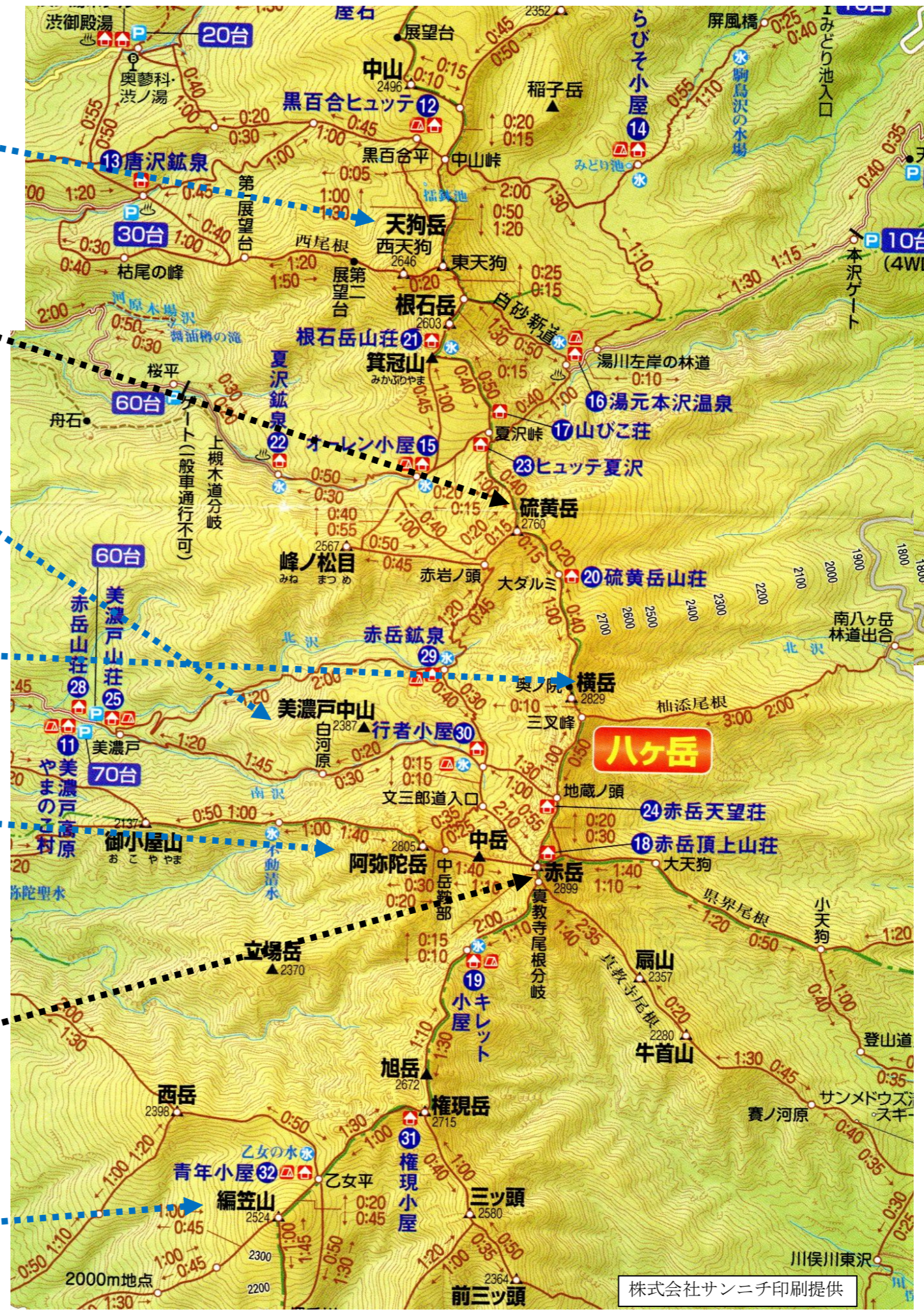
美濃戸中山付近（2件）
 疲労・凍傷、滑落

横岳（1件）
 落石 ※重傷

阿弥陀岳（1件）
 道迷い

赤岳付近（14件）
 凍死、滑落、病気、転落、雪崩、
 転倒、疲労・凍傷、その他
 ※死亡2件・重傷6件

網笠山（1件）
 滑落 ※重傷



株式会社サンニチ印刷提供